

経済再開を後押しする新型コロナ治療薬

米国バイオ & テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

2021年10月8日

当レポートでは、米国バイオ & テクノロジー株オープンの見通しと、新型コロナウイルス治療薬の開発動向、及び当ファンドの運用方針についてお伝えいたします。

金利上昇により反落

9月の米国株式市場は下落しました。米連邦準備制度理事会（FRB）による量的金融緩和政策の縮小に対する警戒感や、中国の不動産開発大手である中国恒大集団の債務不履行への懸念などから、売り優勢の展開となりました。月末にかけては、米長期金利の上昇が重石となり、下落しました。バイオ & テクノロジー関連株は、長期金利の上昇が嫌気され、テクノロジー・ハードウェアおよび機器株や、メディア・娯楽株などが下落率の上位となったほか、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス株も中小型株を中心に市場をアンダーパフォームしました。

（図表1）

短期的には上値の重い展開

今後のバイオ & テクノロジー関連株は、短期的には上値の重い展開が予想されます。当ファンドが投資対象とする銘柄は、中長期的に高成長が期待できるため、基本的に株価バリュエーションも市場平均以上のプレミアムが付与されています。そのため、**長期金利の上昇局面**では、高バリュエーションが意識され、**売られやすい傾向**があると考えられます。

図表2は、年初からのバイオ & テクノロジー関連株指数と米10年債利回りの推移を示したものです。金利が上昇した2021年2月中旬以降、株価が調整していることが確認できます。

足元の金利上昇局面も、量的金融緩和政策の縮小が開始されると予想されている11月頃までは、不安定な相場展開を想定しています。

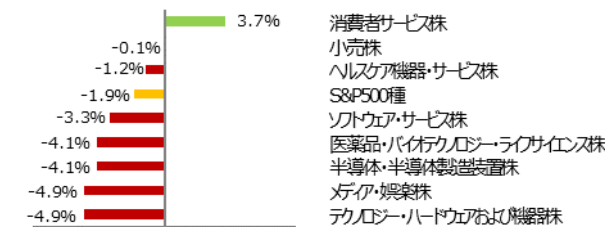
経済再開を後押しするコロナ治療薬

10月1日、米製薬大手メルクは、開発中の新型コロナウイルス向け**経口薬「モルヌピラビル」**が、臨床試験において、重症化リスクのある軽度から中等症の患者の入院や死亡のリスクを**約50%減らす**ことが確認されたと発表しました。これは、新型コロナウイルス**治療の負担軽減**、及び**経済活動の再開を後押し**する上で大きな進展と考えられます。

現在使用されている新型コロナウイルス治療薬には、以下の様な課題があります。①重症あるいは、重症化リスクの高い**中等症以上の患者**が中心、②**静脈注射（点滴）による投与**が中心、③本来は別の疾病治療薬として開発された薬剤からの**転用が多い**。

図表3は、現在開発中の主な新型コロナウイルス治療薬のリストです。特に期待が大きいのは、初等、中等症の段階で投与し、重症化を防ぐ「**抗体カクテル療法薬**」と、投与時の患者負担が小さい「**経口薬（飲み薬）**」です。これらの薬は、多くが臨床試験の後期段階にあり、実用化の期待が高まっています。承認されれば、感染者の重症化リスクは大きく低下し、**新型コロナウイルスに対する脅威も和らいでいく**と考えられます。

図表1 S&P500種産業グループ別株価指数（バイオ & テクノロジー関連）のリターン
（2021年8月31日～2021年9月30日、配当込み、円ベース）



（注）産業グループはGICS（世界産業分類基準）ベース

図表2 バイオ & テクノロジー関連株指数及び米10年債利回りの推移
（2021年1月4日～2021年10月4日、日次、米ドルベース）



（注）S&P Dow Jones Indices LLCの各インデックスは、S&P Dow Jones Indices LLCが発表しており、著作権はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属しています。

（出所）図表1～2はBloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

図表3 臨床試験後期の主な新型コロナウイルス治療薬
（投与タイプ：静脈注射／皮下注射）

一般名	関連企業	対象
トシリズマブ	中外製薬	中等症/重症
ソトロビマブ	英 グラクソ／米 VIR バイオ	軽症/中等症
カシリマブ & イムデビマブ	ロシュ(スイス)／米 リジェネロン	軽症/中等症
バムラニマブ & エデセマブ	米 イーライリリー／米 アブセルラ	軽症/中等症
AZD7442 (AZD8895 & AZD1061)	英 アストラゼネカ	予防薬

（注）赤字は抗体カクテル療法薬

（投与タイプ：経口）

一般名	関連企業	対象
ファビピラビル	富士フイルム／富山化学	中等症/重症
モルヌピラビル	米 メルク	軽症/中等症
PF-07321332	米 ファイザー	軽症/中等症
AT-527	ロシュ(スイス)／米 アテア	軽症/中等症
S-217622	塩野義製薬	軽症/中等症

（注）各種資料より岡三アセットマネジメント作成

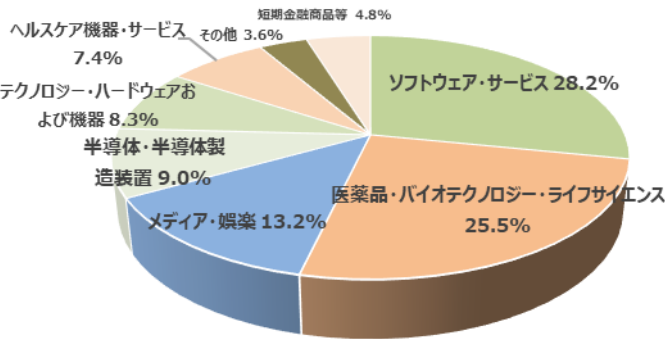
<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

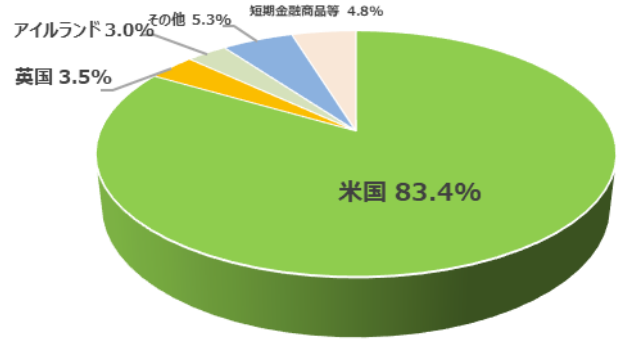
米国バイオ&テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

各種構成比とその推移

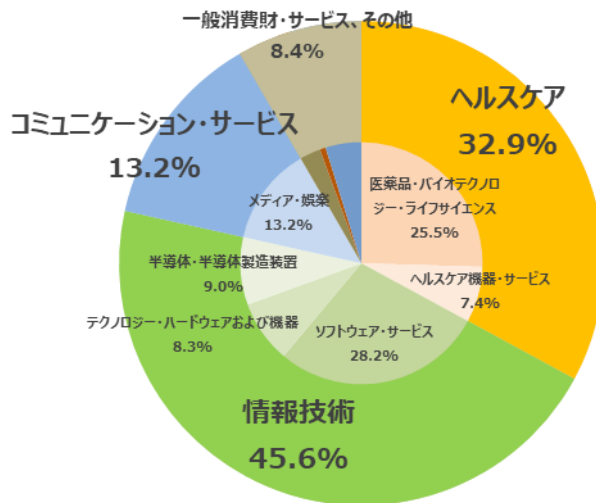
図表4 産業グループ別構成比 (2021年9月30日、円ベース)



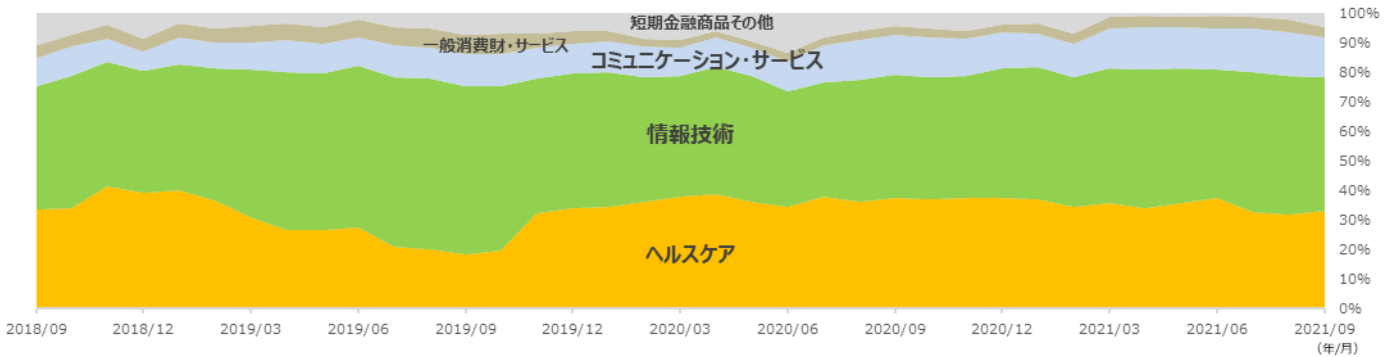
図表5 国・地域別構成比 (2021年9月30日、円ベース)



図表6 セクター&産業グループ別構成比 (2021年9月30日、円ベース)



図表7 セクター別構成比の推移
(2018年9月30日～2021年9月30日、月次、円ベース)



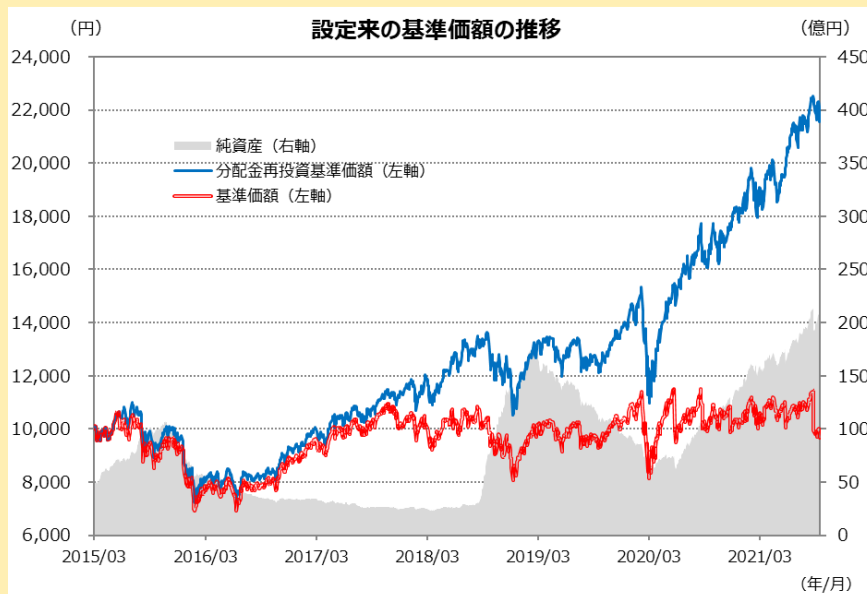
※図表4～7の比率は、米国バイオ&テクノロジー株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。
 ※セクター、産業グループはGICS（世界産業分類基準）ベース
 ※国・地域は発行国で表示しています。
 ※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合があります。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに応じた投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国バイオ & テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

運用状況（作成基準日 2021年9月30日）



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドデータ

基準価額（円）	9,661
残存元本（口）	21,234,644,031
純資産総額（円）	20,515,173,283
実質株式組入比率（％）	93.3
短期金融商品その他（％）	6.7
組入銘柄数	59

決算期	分配金（円）
第21期（2020年06月09日）	1,450
第22期（2020年09月09日）	550
第23期（2020年12月09日）	900
第24期（2021年03月09日）	150
第25期（2021年06月09日）	1,000
第26期（2021年09月09日）	1,300

※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
※各決算期における分配金は1万口当たり(税引前)です。

組入上位業種		
	産業グループ	比率
1	ソフトウェア・サービス	28.2%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	25.5%
3	メディア・娯楽	13.2%
4	半導体・半導体製造装置	9.0%
5	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	8.3%
6	ヘルスケア機器・サービス	7.4%
7	小売	2.8%
8	消費者サービス	0.8%

組入上位10銘柄			
	銘柄名	産業グループ	比率
1	アップル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	8.3%
2	アルファベット	メディア・娯楽	6.6%
3	フェイスブック	メディア・娯楽	4.3%
4	アストラゼネカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.5%
5	サービスナウ	ソフトウェア・サービス	3.4%
6	ハブスポット	ソフトウェア・サービス	3.0%
7	ピザ	ソフトウェア・サービス	3.0%
8	ホライゾン・セラピューティクス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.0%
9	ケイデンス・デザイン・システムズ	ソフトウェア・サービス	2.5%
10	ファイブ9	ソフトウェア・サービス	1.9%

※米国バイオ & テクノロジー株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。
※セクターはGICS（世界産業分類基準）ベース

足元の運用経過と運用方針について

足元の運用につきましては、中小型のバイオ医薬品株及びヘルスケア機器・サービス株の一部を売却しました。一方、ライフサイエンス株を新規に買付けた他、大型のバイオ医薬品株の買い増しを行いました。

今後の運用方針は、テクノロジー関連株については、ソフトウェア・サービス株の買付けを検討します。一方、バイオ関連株は、引き続きヘルスケア機器・サービス株の売却を行う一方、大型のバイオ医薬品株の買付けを行う方針です。テクノロジー関連株とバイオ関連株の配分については、概ね現状の比率を維持する方針です。

（作成：運用本部）

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっての投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国バイオ & テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

米国バイオ & テクノロジー株オープンに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.30%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.815%（税抜1.65%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
auカブコム証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
荘内証券株式会社	東北財務局長(金商)第1号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長(金商)第8号	○			
東海東京証券株式会社	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
フィデリティ証券株式会社	関東財務局長(金商)第152号	○	○		
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
(登録金融機関)					
PayPay銀行株式会社	関東財務局長(登金)第624号	○		○	

＜本資料に関するお問合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214**（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）